

製品名: GATA4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80754**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	GATA4
別名	MGC126629
遺伝子 ID	2626.0
SwissProt ID	P43694
免疫原	大腸菌で発現したヒト GATA4 の精製された組み換え断片。

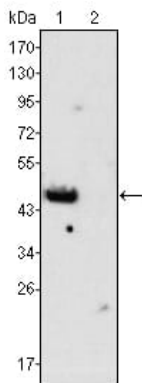
背景

GATA 結合タンパク質 4 は GATA4 としても知られ、ジンクフィンガー転写因子の GATA ファミリーの 46 kDa のメンバーです。このファミリーのメンバーは、心臓肥大とリモデリングの発生に関与しており、心臓と平滑筋の細胞型における基礎遺伝子発現とアゴニ

スト遺伝子発現、またはストレス誘導性遺伝子発現の調節に重要な役割を果たしています。これらの因子は、多くの遺伝子のプロモーターに存在する GATA モチーフを認識します。GATA4 は、転写活性化ドメイン内のセリン 105 に保存された MAPK リン酸化部位を持っています。GATA4 のセリン 105 は、MEK 1 ERK1 / 2 を介したアゴニスト刺激にตอบสนองしてリン酸化され、JNK または p38 MAPK を介しても弱くリン酸化されます。GATA4 は、胚発生と心筋の分化および機能に關与する遺伝子を調節すると考えられています。この遺伝子の変異は、心中隔欠損と關連付けられています。

研究分野

画像データ



ラット胎児心臓 (1) および成体心臓 (2) 組織溶解物に対する GATA4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。